

# ISO/IEC/JIS Plastics

事務局便り 2009 年 9 月

## ISO/TC61(プラスチック)/SC12(熱硬化性材料)分野の最近の動向

### 1. ISO/TC61/SC12 の構成

ISO/TC61/SC12 は、熱硬化性材料関係の規格の制定・改正等を担当する。幹事国は、日本で日本プラスチック工業連盟が国際幹事を 2004 年より受諾している。議長も日本（末松征比古氏：天昇電気工業学株式会社）が受諾している。P メンバー（投票権有す）は、16 カ国で昨年と同じであるが O メンバー(オブザーバ)は、14 カ国で昨年より 1 カ国減少した。表 1 のように四つの WG（作業グループ）が活動している。

WG のコンビナーは、WG1, 及び WG2 は空席, WG5 はエポキシ樹脂技術協会の事務局長, 栗田邦夫氏が, WG6 は Dr.Tomas.Conti (USA) が務めている。

昨年, 第 57 回 ISO/TC61 年次国際会議は, アメリカのオーランドで開催された。ここでは, 同会議以降の主たる国際規格の制定・改正審議状況及び課題を WG（作業グループ）別に記述する（規格の名称は簡略して示す）。

尚, 第 58 回 ISO/TC61 年次国際会議は, イタリア・ローマで開催されこれらの課題について審議する予定である。

表 1 TC61/SC12 の WG

WG	コンビナー	タイトル
WG 1	空席	熱硬化性樹脂成形材料
WG 2	空席	フェノール樹脂
WG 5	日本(JISC)	エポキシ樹脂、不飽和ポリエステル樹脂
WG 6	USA(ANSI)	ウレタン原料

### 2. WG1（熱硬化性樹脂成形材料）

2009 年の Systematic Review で 22 の規格が見直し投票されたが、いずれも確認となった。

### 3. WG2（フェノール樹脂）

2009 年の Systematic Review で 3 つの規格が見直し投票され、次の 2 件に改正提案（日本）があり、ローマ会議で審議される予定。

**ISO 8975** (pH の求め方)

**ISO 8988** (アミン量の求め方)

### 4. WG5(エポキシ樹脂、不飽和ポリエステル樹脂)

#### (1) FDIS21627-1～-3（プラスチック－エポキシ樹脂の塩素含有量の求め方 1 部～3 部）

日本の改正提案（対応 JIS と整合化する。）で現在 FDIS 投票中である。

#### (2) DIS18280（エポキシ樹脂試験法）ISO 18280:2005 の改正を昨年の Systematic Review で日本が提案（対応 JIS と整合化する。）し、オーランド会議で改正が承認され、現在 DIS 投票中である。その結果をローマ会議で審議する。

#### (3) CD4901（不飽和 PET の残留スチレン量の求め方）

ISO 4901:1985 の改正を昨年の Systematic Review でオランダが提案（安全な溶剤への変更、ガスクロを用いる方法へ変更）し、オーランド会議で改正が承認され、現在 CD 投票中である。その結果をローマ会議で審議する。

**(4) NWIP (新規提案)**

DSC を用いた未硬化エポキシ樹脂の硬化度の求め方について NWIP 投票を開始し、ローマ会議前に結果が判明し、同会議でその結果を審議する。

**(5) 2009 年の Systematic Review** で 3 規格が見直し投票され、いずれも確認された。

**5. WG6 (ポリウレタン原料)**

**(1) DIS15063 (ポリウレタン用ポリオールー全アミン量の求め方)**

ISO 15063:2004 の改正を昨年の Systematic Review で日本が提案 (対応 JIS と整合化する。) し、オランダ会議で改正が承認され、現在 DIS 投票中である。その結果をローマ会議で審議する。

**(2) 2009 年の Systematic Review** で ISO 14898:1999 (酸度の求め方) が見直し投票され、日本からの改正提案があり、ローマ会議で改正の必要性を審議する。

**6. まとめ**

ISO/TC61/SC12 は、比較的コンパクトな SC であるが、その分国際会議などでの議論は充実している。また、日本が国際幹事を受諾後、活発化し、年々規格数も増加 (表 2 参照) している。また規格の改正も数件/年程度をコンスタントに行っている。しかしながら、エポキシ樹脂、ポリウレタン樹脂以外の分野では、各々の市場状態を反映してか、規格のメンテナンスのみの状態となっている。このような状況より、今後 WG の組み換えなどを考慮する必要があるのかもしれない。

表 2 TC61/SC12 の規格数

年次	規格数
2004	80
2005	81
2006	82
2007	84
2008	86

(以上)